

帝国電機製作所：次世代ポンプをグローバルに提供

株式会社帝国電機製作所は、あらゆる業界向けにフルカスタマイズのキャンドモータポンプを提供している。

「クライアントに応じ
て、1台1台ハンドメイド
で製造します」

株式会社帝国電機製
作所 代表取締役社長
頃安 義弘



日本はニッチなB2B製造市場で高い存在感を誇り、小規模かつ機敏でありながら革新的な日本



本社(兵庫県たつの市)

の中小企業は、顧客に多品種少量のカスタマイズ製品を提供することで世界的に有名だ。このような市場は小さいので、大企業は手を出さないのが普通であると、ファインケミカル、石油化学、医薬品、発電、食品など、さまざまな業界で使用されるキャンドモータポンプを製造する帝国電機製作所の頃安社長は言う。

同社は、50年以上の歴史と世界的な実績を持ち、複雑化しがちな顧客の要望に応えるため、フルカスタマイズが可能なキャンドモータポンプを提供している。



API685キャンドモータポンプ

「お客様の多くは化学業界に属しており、その要求は満たすのが難しいだけでなく、内容も多岐にわたります。アメリカの規格に対応できる製品が欲しいと言われることもよくありますし、ニッチで顧客ごとにカスタマイズされすぎているため、大企業はあまり手を出さない領域と言えるでしょう。だからこそ、クライアントから依頼を受けるとき、私たちは各ユニットを手作りします。標準化とは真逆のところまで動いているのです。大企業ではこのような複雑な要求に対応することはできないので、私たちのカスタマイズアプローチは、お客様に大変喜ばれています」

昨今、クライアントや業界の要望は、まさにグリーン政策の影響を大きく受けている。例えば、三菱重工業では、石炭にアンモニアを混ぜて発電し、石炭の量を減らすという取り組みを導入した。「当社はポンプ製造において長年の経験があるので、当社のポンプをそのプロセス内で使用してもらいたいのです。具体的には、アン



定量ポンプ

モニアを供給するためのポンプのことで」

同社の製品は、バイオマス発電や洋上風力発電、水素発電のためのアンモニア輸送などにも利用されており、頃安社長は、今後数年間のグリーンエネルギー革命において自社がより大きな役割を果たすことを望んでいる。

「残念ながら、中小企業である私たちが獲得できる電力業界のシェアはごく一部ですが、先ほどお話ししたアンモニアと石炭の混焼が普及し始め、当社のポンプで電力業界の市場シェアを拡大できることを期待しています。この事業は、当社が電力業界で大きな存



本社工場

「他社製品の場合、液体や水が入ると、モーターに直接接触するため寿命が短くなりがちです。メンテナンスの際に、お客様はモーター自体を交換する必要があり、コスト面で大きな負担となります。私たちの製品はキャンド(缶詰)仕様なので、水のような液体の場合、モーターへのアクセスが妨げられます。他社のウェットモーターポンプの寿命は5年程度で



キャンドモータポンプ標準型 カットモデル

在感を示すための入口となるものです。バイオマスエネルギーや風力発電も電力業界の将来を占う上で重要なポイントであり、これらも当社の電力業界へのエントリーポイントになると考えています」

電力業界で大きな可能性を秘めている製品のひとつとして、頃安社長は発電所で使用されるウエットステータ式ボイラー循環ポンプのアップグレードと代替が可能なBP型縦型ボイラー循環ポンプを挙げている。多くの顧客にとってコストと時間のかかるポンプのメンテナンスがほとんど必要ないことが大きなメリットとなっている製品だ。

すが、当社のキャンドモータポンプは10年以上の寿命が期待できます。この数字は競合他社の2倍であり、コスト削減面でご好評をいただいています」

すでに7つの海外拠点を持つ帝国電機にとって、国際的な成長を目指す上で、オーストラリア、中国、アメリカ、インドが最も可能性を秘めた地域であるという。「これらの地域にはまだ成長の余地があるので、生産事業とサービス事業をさらに強化したいと考えています」



www.teikokudenki.co.jp/english